

11 その他動物

除外種

「三重県レッドデータブック 2015」掲載種のうち、評価対象から除外した種とその理由は以下のとおりである。

新レッドリストで評価対象から除外した種

綱・目	科名	和名	学名	三重県		環境省	除外理由
				新	旧		
ヒドロ虫目	ハナガサクラゲ科	イセマミズクラゲ	<i>Craspedacusta iseana</i>	除外	EX	DD	過去の記録はあるが、生育状況が定かではないため、該当する評価区分なしとした。

その他動物レッドリスト

綱・目	科名	和名	学名	三重県		環境省	掲載頁
				新	旧		
ヤスデ綱	カザアナヤスデ科	イチハシヤスデ	<i>Dasynemasoma ichihashii</i> Murakami	NT	NT	—	510
ヤスデ綱	ホタルヤスデ科	アマガスホタルヤスデ	<i>Kopidoiulus truncates</i> Murakami	NT	NT	—	510

哺乳類

鳥類

爬虫類

両生類

汽水・淡水魚類

昆虫類

クモ類

貝類

甲殻類

その他動物

維管束植物

蘚苔類

藻類

キノコ

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD

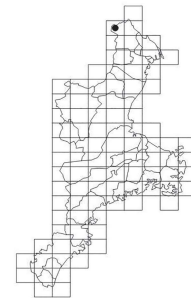
哺乳類
鳥類
爬虫類
両生類
汽水・淡水魚類
昆虫類
クモ類
貝類
甲殻類
その他動物
維管束植物
蘚苔類
藻類
キノコ
EX
EW
CR
EN
VU
NT
DD

イチハシヤスデ

ヤスデ綱 カザアナヤスデ科

Dasyneomasoma ichihashii Murakami

【選定理由】いなべ市藤原町の篠立の風穴にのみ生息する固有種。
 【種概要】体長32 mm. 胴節は62節, 歩肢は短く, 目は退化し, 体色も退色して乳白色. 体形は細長い.
 【分布】いなべ市藤原町の篠立の風穴にのみ生息する固有種.
 【現況・減少要因】洞窟の人為的な管理と保全がなされている. しかし今回の調査で洞窟内部の乾燥化が進んでおり生物の密度は極端に少なくなっていた. そのために生息が確認できなかった. 乾燥化の原因は不明である.
 【保護対策】県の天然記念物としての洞窟の保護・管理はなされているので, このままの管理を続けてゆくことが大切である. また定期的な生息調査が必要である.
 【文献】1, 2.



三重県 2025
NT
三重県 2015
NT
環境省 2020
—

(稲垣政志)

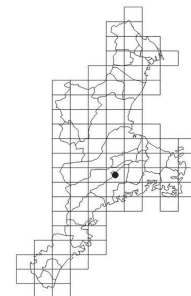
(写真: いなべ市藤原町, 2006年, 稲垣政志撮影)

アマガスホタルヤスデ

ヤスデ綱 ホタルヤスデ科

Kopidoiulus truncates Murakami

【選定理由】大紀町藤木屋の木屋のこうもり穴に生息する。
 【種概要】体長♂19~30 mm, ♀38~47 mm. 胴節♂39~43節, ♀38~47節. 目は退化し, 体色も退色して乳白色, 細長い体型.
 【分布】本州の中部に分布する. 三重県では木屋のこうもり穴のみに生息し, 他では愛知県豊橋市の「蛇穴」, 静岡県浜松市の「タチスの斜め穴」からも記録されている.
 【現況・減少要因】本種は洞窟の環境変化に鋭敏な種である. 入洞しやすい洞窟であるので, 過度な入洞が本種だけでなく洞窟性生物の生息に大きな影響を与えている.
 【保護対策】洞窟周辺の環境保全. 入洞にともなう人為的な環境変化に考慮した行政の指導ならびに地元の理解ある協力が必要である.
 【文献】1, 2.



三重県 2025
NT
三重県 2015
NT
環境省 2020
—

(稲垣政志)

(写真: パラタイプ標本の画像)

文献

- 1 市橋 甫. 1992. 三重県を模式産地とする2種の洞窟性ヤスデ. 三重生物, 42: 10-12.
- 2 Murakami, Y. 1979. A New Genus and Species of Nemasomatid Millipede from Central Honshu, Japan. Journal of the Speleological Society of Japan. 4: 17-22.